

2020年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金)

団体名: 小坂井商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価													
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価					今後の展開・改善点等	備考
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	実施側の評価	自己評価	調査結果	満足度		
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に経営指導員等商工会職員が事業所を訪問、または窓口において金融相談・税務相談・労働相談等経営全般について様々な相談に対応することにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業の育成をするとともに創業予定者をはじめとした経営全般に係る相談窓口の設置により経営改善に資する指導をする。	1. 巡回窓口指導延件数 540件 2. 巡回窓口指導実企業 210件 3. 課題解決提案件数 18件 4. 経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 88.5 %)	指標 課題解決提案件数 (達成度 90.0 %)	得られた効果 事業者の必要時に専門家派遣を行い、内容の濃い経営支援ができた。また事業者においても知識の習得が図られた。	総合評価 B	実施側の評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 両方現状維持 実施方法 現行どおり	経営支援は進めているが、課題解決提案件数は伸び悩んでいる。また商工会の会員増強も喫緊の課題であり、指導延件数や課題解決提案などの件数目標は引き続き維持してゆきたい。			
記帳継続指導	商工会契約税理士又は商工会職員が個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自主記帳や計数管理による経営力の向上に結びつける。	1. 指導対象事業所数 55件 2. 指導延回数 837回	小規模事業者	指標 指導対象事業所数 (達成度 96.5 %)	指標 (達成度 %)	記帳方法の指導、決算・確定申告の指導により適正な税務申告と計数管理による経営力向上につながった。	総合評価 B	実施側の評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	引き続き、事業所のためになる指導をしてゆきたい。			
講習会事業	多様化する経営資源に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融、税務、経理、労働、情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、必要な講習会の提供と参加者の資質向上を目的とする。	1. 集団講習会 実施回数 2回 参加者数 6人 2. 個別講習会 実施回数 64回 参加者数 114人	小規模事業者	指標 実施回数 (達成度 347.4 %)	指標 参加者数 (達成度 93.0 %)	伴走型小規模支援事業に沿ったセミナーを実施。また本年度は新型コロナウイルス窓口相談を開催し事業者に即した対策実施することができた。	総合評価 B	実施側の評価 B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 両方下げる 実施方法 現行どおり	伴走型小規模支援事業に沿ったセミナーを実施。経営面を強化したいと思っている事業者を把握することができた。今後の支援に繋げていきたい。	○		
地域振興事業(地域振興まつり事業)	地域イベント「みんなよっぴい」での街歩きや「葉まつり」を10月に開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域産業のPRの場を提供するとともに地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	1. 出店事業所数 0事業所 2. 葉まつり実行委員会 0回	小規模事業者	指標 出店事業所数 (達成度 0.0 %)	指標 (達成度 %)	本年度は新型コロナウイルス感染症対策による万全な体制が確保できないため、中止となった。	総合評価 B	実施側の評価 B	自己評価 B 目標達成度 D	調査結果 事業者への B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	本年度は中止となったものの、葉まつりへの来場者に地域産業のPRをするため、本年度は目標を維持してゆきたい。			
労働保険事業	事業主等の委託を受けて事業主に代わって労働保険料の申告納付に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより、小規模事業者等の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	1. 委託事業所数 59件 2. 対象従業員数 348人	小規模事業者	指標 委託事業所数 (達成度 103.5 %)	指標 (達成度 %)	労働保険の適正な事務処理ができた。	総合評価 B	実施側の評価 B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	間違いない事務処理と迅速な対応を続けていく。			
税務関係団体事業(青色申告会)	税務支援団体「青色申告会」が行う地域貢献活動等をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一助となり、商工業の活性化に資することを目的とする。	小坂井青色申告会 1. 加入事業所数 108件	小規模事業者	指標 加入事業所数 (達成度 98.2 %)	指標 (達成度 %)	青色申告会会員の協力により事業が的確に行われた。	総合評価 B	実施側の評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	廃業による減少に伴い目標を下げる。実施については青色申告会の事業運営を引き続き実施していく。			
青年部・女性部事業	青年部・女性部それぞれの事業を通じ、地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	1. 青年部活動事業(ご当地グルメ事業他) 参加者数 243人 2. 女性部活動事業(手作り事業他) 参加者数 52人	小規模事業者	指標 事業参加者数 (達成度 61.5 %)	指標 (達成度 %)	本年度は新型コロナウイルス感染症対策による万全な体制が確保できないため、中止となった事業が多く、延べ参加人数が減った。	総合評価 B	実施側の評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	本年度は先のとおり結果となったものの、引き続き活動を通じ地域の発展に寄与していきたい。			
福利厚生事業	小規模事業者等の経営・雇用の持続的な安定を図るため各種共済制度の普及、健康診断事業の実施等により、事業所の健全な育成を目的とする。	1. 共済普及推進(中小企業共済、中退金等) 加入件数 243件 2. 福利厚生事業(健康診断) 参加者数 10人	小規模事業者	指標 各種共済加入件数 (達成度 99.2 %)	指標 (達成度 %)	従業員に関する共済は雇用安定のため、持続的に契約更新されている。またゴルフ大会は新型コロナウイルスの影響により中止となった。	総合評価 B	実施側の評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	引き続き福利厚生事業を進めていく。			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2020年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金)

団体名: 小坂井商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価																	
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	事業評価	ABCDEF評価				今後の展開・改善点等	備考			
部会・委員会事業	商業部会、工業部会が事業を行うことにより、参加企業の発展に寄与することを目的とする。	1. 商業部会(夏まつり大売出し・出店事業、先進地視察研修他) 参加企業数 0件 2. 工業部会(先進地視察視察研修他) 参加企業数 0件	小規模事業者	指標	参加企業数 (達成度 0.0 %)			指標	達成度 %				本年度は新型コロナウイルスの影響により、事業が中止となった。	総合評価	B	事業評価			自己評価	調査結果	満足度
				目標数値	75	実績数値	0	目標数値		実績数値		B					B	本年度は新型コロナウイルスの影響により、事業が中止となった。	現状維持		
経営強化事業(エースクラブ事業)	商工会活動への協力、地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	1. エースクラブ(会議・事業) 参加企業数 44件	小規模事業者	指標	参加企業数 (達成度 22.6 %)			指標	達成度 %			本年度は新型コロナウイルスの影響により、多くの事業が中止となり参加事業所数が大幅に減少した。	総合評価	B	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	本年度は先のとおり結果となったものの、引き続き、商工会活動への協力、地域商工業の発展に寄与していきたい。
				目標数値	195	実績数値	44	目標数値		実績数値						B		B	本年度は新型コロナウイルスの影響により、多くの事業が中止となり参加事業所数が大幅に減少した。	現状維持	
若手後継者等育成事業(若手後継者勉強会)	経営者となる若手後継者だけでなく、地域の小規模事業者は、今後さらに変化が加速する経営環境に迅速に対応する必要がある。そのため、本事業を活用し経営の基礎となる部分を再確認できる勉強会を実施することで、事業主の資質向上・人材育成が向上し企業の継続的な経営を目指す。	1. 実践型勉強会 ・動画制作セミナー 実施回数 3回 参加者数 18人 ・資産を守るセミナー 実施回数 1回 参加者数 13人 ・クラウドファンディングセミナー 実施回数 1回 参加者数 5人	小規模事業者	指標	勉強会参加人数 (達成度 51.4 %)			指標	セミナー参加者満足度 (達成度 114.4 %)			今回、動画制作セミナーを3回、資産を守るセミナーとクラウドファンディングセミナーを開催し、参加者から満足の声を多くもらった。この事業によって、今まで聞くことが出来なかった各業態に対応した勉強会を開催できたことは深い知識を得る良い機会となった。多くの知識を学ぶことの重要性・応用性を考えることが出来る勉強会を開催することが出来た。	総合評価	B	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	中小零細事業所はどうしても変化への対応が遅くなっているのが現状である。今回の事業により幅広い知識を得て次につながる経営の意識を得る出来た。次につながる継続的な経営が出来るよう指導を続けていく。次年度は事業内容の変更の伴い目標を左記のとおりとする。
				目標数値	70	実績数値	36	目標数値	75	実績数値	85.8					B		B	上げる		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。